

## 技術開発課題完了報告書

東北森林管理局 山形森林管理署

課 題	松枯れ予防活性剤散布試験		開発期間	自 平成 9 年度 至 平成 11 年度	
開発箇所	山形市大字小白川五丁目字川原国 有林 230 林班ハ小班	技術開発目標	松くい虫被害予 防	担 当	業務第一課 造林係
開発目的	植物活性剤（マツエース）活用による松枯れ予防効果の検証				
実施経過	<p>1 平成9年6月20日付け連絡文書により、署自主課題として活性剤散布区域及び対象区を設定した。</p> <p>2 実施内容及び調査内容</p> <p>(1) 設定時調査 平成 9年 7月 4日 毎木 散布区5本, 対照区4本, 無散布区3本</p> <p>(2) 試験地設定 平成 9年 7月11日 散布区0.07ha, 対照区0.04ha, 無散布区0.07ha</p> <p>(3) 初回散布 平成 9年 7月11日</p> <p>(4) 9年度調査 平成 9年10月29日</p> <p>(5) 2回目散布 平成10年 6月11日</p> <p>(6) 10年度調査 平成10年11月16日 対照区にマツガイチュウによるものと見られる枯損木 1本発生, 散布時既に被害にあったものと推察される。</p> <p>(7) 3回目散布 平成11年 6月25日</p> <p>(8) 11年度調査 平成11年11月11日</p>				
開発成果	<p>試験地設定周辺のアカマツは老齢・古木が多く、樹勢が衰退傾向にあるものが殆どであるが、活性剤散布区のアカマツは針葉が生き活きとした緑色を呈し、明らかに樹勢が回復しているのが感じられる。</p> <p>散布区、対照区、無散布区何れにおいても対照区で発生した散布時既にマツガイチュウに侵されていた1本を除き、松枯れ病の発生は見受けられなかった。</p> <p>別紙添付試験地写真参照</p>				
評価及び普及指導	<p>3カ年の期間において松枯れ予防に対する効果について検証できる確固たる材料は得られなかったが、被害が発生していない事実を見れば全く効果がないとは言い切れない側面もあると考えられるところであり、予防効果の検証について更に試験研究を継続する必要があると判断される。</p>				